

志望動機の書き方

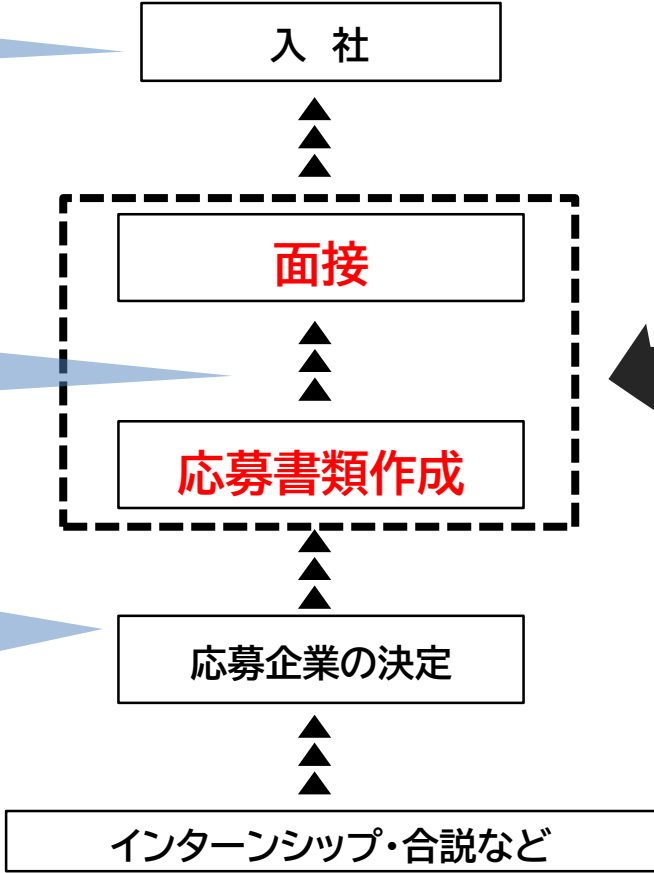
- 1) 志望動機はなぜ必要か
- 2) 志望動機の構成要素
- 3) 志望動機をつくり方
- 4) 志望動機を作成してみる
- 5) 採用担当者が知りたいこと
- 6) まとめ

どんな社会人になりたいか、
5年後、10年後のビジョン

自己PR、志望理由活かせる能力、
やりたいことは？

やりがいはあるか
応募企業とのマッチング度合い
は？志望順位は？

どんな仕事がしたいか
どの業界？会社？



今日はココ



就職活動の2本の柱(土台)



● 志望動機を確認する目的

なぜうちの会社で働きたいのか？



- ・会社のどこに魅力を感じている？
- ・会社で何をやりたい？
- ・どのくらいの熱意がある？

会社の事を
どのくらい理解
している？

※「なぜその会社に入社したいのか」

「入社後どのように仕事をしていきたいと考えるのか」などを伝える

● 会社のことを知る

※応募したい企業がある人はその企業のことを調べてみよう。
※決まっていない人は合同企業説明会チラシの企業から選んで調べてみよう。

会社名			
業界			
事業概要			
経営理念			
設立年		従業員数	
担当者			
企業に対する印象			
志望度			

競合他社	
他社との比較： 強み	
他社との比較： 弱み	
今後の事業展開	
求める人物像	
興味がある 事業内容	
自身が活かせる 強み	
質問したいこと	

● 自分のことを知る

自己分析をする

興味（やりたいこと）

能力（できること）

価値観（働くうえでのこだわり）

自分の性格（長所、短所）

自身の強み（自己PR出来ることや会社で力を発揮できること）

趣味、特技

● 志望動機に盛り込める要素

【会社の事】

- ・会社の魅力を感じる場所、共感できる場所
- ・その会社を知ったきっかけ
- ・その業界の魅力、職種の魅力

Point

会社や仕事を
正しく理解
しているか

会社の事

会社の魅力を感じる場所、共感できる場所

その会社を知ったきっかけ

その業界の魅力、職種の魅力

● 志望動機に盛り込める要素

【自分の事】

- ・自分がやりたいこと、実現したいこと
- ・自分がこだわりたいこと、大切なこと
- ・生かせる経験、スキル、学んだこと

Point

会社の求める
人物像と
合っているか

自分の事

自分がやりたいこと、実現したいこと

自分がこだわりたいこと、大切なこと

生かせる経験、スキル、学んだこと

● 基礎となる文章構成の例

※あくまで基礎であり、応募先により内容を付け加える必要がある。

パターン① 会社の魅力の場合

結論：会社の●●に魅力を感じた

なぜそう思うのか。
きっかけやこれまでの経験、エピソード。

入社後の決意、
会社はどう貢献できるのか

パターン① 会社の魅力の場合

結論：会社の●●に魅力を感じた

なぜそう思うのか。きっかけやこれまでの経験、エピソード。

入社後の決意、会社はどう貢献できるのか

※企業理念への共感は最近の採用トレンドだが、結論が平凡になりがち。
きっかけや経緯、入社後の決意で差別化が必要。

● 基礎となる文章構成の例

※あくまで基礎であり、応募先により内容を付け加える必要がある。

パターン② 自分のやりたいことの場合

結論：会社で●●を実現したい

なぜそう思うのか。
きっかけやこれまでの経験、エピソード。

他社よりも実現できそうだと思う理由
他社より魅力的だと思う理由…など
※結論により変わる

パターン② 自分のやりたいことの場合

結論：会社で●●を実現したい

なぜそう思うのか。きっかけやこれまでの経験、エピソード。

他社よりも実現できそうだと思う理由、他社より魅力的だと思う理由
…など

※思いを強くアピールしやすいが、会社が求めるものとズレないように注意が必要。
またこの会社でなければならない理由も重要。

●ワーク：実際に志望動機を文章化してみよう

※応募したい企業がある人はその企業向けに書いてみよう。

※決まっていない人は合同企業説明会チラシの企業から選んで書いてみよう。

企業名：

結論：会社の●●に魅力を感じた/会社で●●を実現したい 等

なぜそう思うのか。きっかけやこれまでの経験、エピソード

入社後の決意、会社にどう貢献できるのか

● 知りたいこと

- 1) なぜ自社なのか
- 2) 自社でかなえたいことは何か
- 3) 入社したらどのように貢献できるのか

Point

**すぐに辞めずに自社で長く働いてくれそうか、
熱意と覚悟はどのくらいあるのかを志望動機で判断している**

「この会社に入社したい」という熱意を伝えることで、
面接官に自社で長期的に働き活躍するイメージを持ってもらうことが大切。

●この言葉に要注意！

※これらの動機が間違いなのではなく、採用担当者が知りたい事とズレている

「企業理念に共感した」

企業理念への共感は大事ですが、ただ「共感した」だけなら誰でも書けてしまいます。
企業理念の特にどなたどこに共感したのか。なぜ共感したのか。共感以外の感情で表せないか。

「この会社で成長したい」

会社は社員の成長を期待していますし、その環境を整える必要があります。
一方で会社はあなたが成長するための踏み台ではありません。
意気込みとしては「自ら成長する」姿勢が重要ですし、成長したうえで会社に何をもたらしてくれる
のかが更に重要です。

「福利厚生がしっかりしている」「安定している」「業界トップである」

福利厚生は一生懸命働く社員のために会社が用意するものです。
会社が安定しているのも、業界トップなのも、社員の一人一人が一生懸命働いているからです。
これらを志望動機に掲げると、これまで会社が築いてきた成果を何の努力もせずに享受したいだけ
だと思われてしまいます。また会社が業界トップでなくなったとき、会社が苦しい時に一緒に
がんばってくれないのではと感じられます。

1. 会社を知り、自分を知ることが大事
2. 志望動機に盛り込める要素を考える
3. 基礎となる文章を作ってみる
4. 文章化出来たら、添削を受けブラッシュアップする

